

600年もの歴史を誇る都市プロブディフ

作者 眞一 景

ボヤナ教会 (プロブディフ市)



ソフィア郊外のビト山のうもい建つ教会で世界遺産に登録されています。10世紀に創建された。その後、第2次ブルガリア帝国の下で13世紀に中央棟が加えられました。19世紀半ばに現存する形が完成し、1979年にユネスコの世界遺産に登録されました。とても小さな教会なので一度に収めきれず、しかし内部に描かれているフレスコ画のスケールはとてもすごいです。中でも1219年に描かれた最後の晩餐は必見です。

ブルガリアで最大の規模を誇る教会です。オスマン朝の解放街道にた露壇浄土堂。また20万人のロシア兵士に対する感謝、慰霊のために1922年に完成しました。名前の由来は、各士戦争での英雄アレクサンダー・ネフスキーからきています。



アレクサンダル・ネフスキー寺院 (ソフィア市)

プロブディフ市には、桃太郎の像がある公園があります。この桃太郎の像は、岡山市と姉妹都市関係が成り立ちました。1972年(昭和47年)5月に、姉妹都市縁組が成り立ちました。

岡山市とプロブディフ市の交流

ヨコハマには都区文化センターがあります。2019年にプロブディフ市が選ばれたので、繁華街にはこの看板があります。



カザンラク市は、ブルガリアのアスタラカがラ州にあるバルカン山脈のふもとにカザンラク平野に開けた都市です。ローズオイルの生産の中心でもあり、バラ博物館もあり、バラ博覧会も開催されます。日本人観光客も多く、トラキヤ人の墳墓もたくさんあります。世界遺産もたくさんあります。

カザンラク市

オススエの特産品
ヨーグルト
日本でも有名なブルガリアヨーグルト。ヨーグルトは、大のヨーグルト料理に使われていたりします。バラ
バラのおかしや水お酒などがあまみおかしとしてあまみですが、とてもおいしいです。